

～～第8013回～～

仙丈ヶ岳

～H28. 9. 10-11～

10日：焼津5:00発。芦安駐車場7:15着。第4駐車場に案内されたが、すでに満車状態で真中に止めるよう指示を受けた。乗合タクシー・バスと乗り継ぎ、北沢峠9:15着。バスの車窓から大きなフジアザミが道路脇に延々と咲いているのが目に入った。藪沢新道登山口まで歩き、ここから下って行く。この辺りは国立公園保護区に指定されている森林帯という事で、うっそうとした原生林の雰囲気がしばらく続く。大平山荘の右手を過ぎ、だんだん急登になる道は、大小の石や木の根が大きく張っている。溪流を渡った所で昼食。真青な空が開け、後方に甲斐駒ヶ岳が白い山肌を見せている。突然、青空にウロコ雲が広がり、ナナカマドの赤い実と共に目を奪われる。水音を間近に聞きながらの登りは時々ザラザラと歩きにくい所もあるが、沢から離れると間もなく馬ノ背ヒュッテが見える。周りは鹿の食害から高山植物を守る為、網を張り巡らせてある。到着してすぐオゴジョの出迎えを受けた。この小屋はザックを寝床に持ち込めない。そして夕食は5回までお替わりのできるカレーだった。夜中は満天の星を楽しんだ。

11日：快晴の朝、馬ノ背の尾根に出ると周囲の山々は朝日に輝いており、前方に小型の風力発電機が並んでいる仙丈小屋が見える。近くのハイマツ帯では数羽のホシガラスが啄んでいる様子だった。ゴロゴロした岩のカールを登って行き仙丈ヶ岳山頂に着く。笠雲をかぶった富士山・北岳・間ノ岳とさらに右に農鳥岳ぐつと下って大門沢降下点と見ることが出来た。この時刻すでにヘリコプターが山小屋に荷物の揚げ降ろしを繰り返していた。ザックを置き、大仙丈ヶ岳まで往復した後、北沢峠に向い始め、途中の小仙丈ヶ岳で昼食。足元の高山植物は真赤に紅葉し、木々は黄色に色付き始めており、秋を感じさせる。稜線歩きの間ずっと八ヶ岳・中央ア・南アの山々や遠く伊那地方の景色を眺め、樹林帯では木の間越の青空を仰ぎ見しながら涼風を受け充実した山行だった。

参加者：6名（焼津）

天候：晴

地図：仙丈ヶ岳

コースタイム：藪沢新道登山口 940…太平山荘 950-55…溪流を渡った所 1130-1200…馬ノ背ヒュッテ 1340-545…仙丈小屋 645-55…仙丈ヶ岳 730-45…大仙丈ヶ岳 825-40…仙丈ヶ岳 920-30…小仙丈ヶ岳 1040-1110…大滝ノ頭 1150-1200…2合 1242-47…北沢峠 1315

記録：焼津支部 清水信子